



みんなの広場

↓ 多くの人でにぎわう試食・販売

↓ 弓削田さんと、食の大切さや命の尊さを伝えました



2.8



みんなで楽しく健康ダンス



あんこを広げてごはんを入れ、上手に丸めたらできあがり

食のまちづくりフォーラム  
食の大切さをかみしめた一日

市制 60 周年と食のまちづくり宣言 10 周年を記念して、食のまちづくりフォーラムが立花公民館で開催されました。食育や健康に関するコーナーや、各種体験コーナー、伊万里の食を味わえる物産展などのほか、弓削田健介さんの食育コンサートがありました。参加した多くの親子連れなどは、出店者との交流を楽しみながら、伊万里の特産品を味わったり、買い求めたりして、伊万里の食材や、食育、健康に対する理解を深めていました。

第 28 回ボランティア研修交流会  
災害時は連携して的確な対応を

ボランティア研修交流会が、市民センターで開催されました。これは、災害時の被害を少しでも減らそうと、市ボランティア連絡協議会が主催したもので、76 人が参加。日本赤十字社佐賀県支部救護係長の廣田 聡さんが、『地域で考える災害時の備え』と題して講演を行ったほか、参加者に、災害時や緊急時における簡易救護法などを指導しました。



2.1

↑ やや緊張しながらも真剣に心肺蘇生の実技に取り組む参加者

↓ 「老若男女一人一人が意識を変えよう」と話す中嶋さん



1.25

男女協働参画フォーラム  
相手を認め思いやることが大切

男女協働参画フォーラムが、市民センターで開催されました。これは、官民一体で男女協働参画を推進しようと市男女協働参画懇話会『いまりプラザ』が主催したもので、130 人が参加。福岡県男女共同参画センター前館長の中嶋玲子さんの講演や、家族で株式会社百姓屋を営む市丸さん夫妻との対談が行われ、意識改革の大切さを訴えていました。



このコーナーでは、あなたの周りの身近な出来事や話題を待っています。市役所情報広報課広報係までご連絡ください。(☎234313広報係直通)

## 緊急避難時の作業手順を確認

佐賀県原子力防災訓練

玄海原子力発電所での事故を想定し、県民参加による原子力防災訓練が行われました。伊万里市からは、立花町民など160人が参加し、マイクロバスなどで鹿島市へ避難。途中、訓練で初となる全車両の放射線汚染検査（スクリーニング）や、住民の体表面汚染検査なども実施され、緊張感が漂う中、従事者は住民避難時の作業手順を確認しました。



1.24

↑ 杵藤クリーンセンターで、車両の汚染検査を受ける避難バス

↓ 1つ1つ、ひき肉をキャベツで丁寧に包む受講者



1.20

## 料理は人生を豊かにするスパイス

カルチャー講座『男の料理教室』

男性が料理をするきっかけになればと、市民センターで『男の料理教室』が開講しました。今年は、60歳代を中心に26人が受講し、この日は洋食のロールキャベツや人参サラダに挑戦。人生はベテランでも、料理はこれからという人も多く、講師から失敗しないコツなどが紹介されると、熱心にメモを取りながら、料理の基本を学んでいました。

## 『伊万里観光いろはかるた』市内小学校交流大会

『伊万里観光いろはかるた』第8回市内小学校交流大会が、伊万里玉屋で開催されました。これは、伊万里ロータリークラブが毎年この時期に開催しているもので、今年は9校から14チームが参加。児童たちは、1枚でも多くの札を取ろうと、読み手の声に耳を傾け、真剣に絵札を取り合っていました。なお、優勝は伊万里小学校Aチームでした。



1.24

↑ 伊万里小学校A（左3人）と山代東小学校の白熱した決勝戦

↓ 受賞を報告する市丸道雄社長（右）と取締役の妻・初美さん（中）



2.2

## 鶏肉を伊万里ブランドに育てます

『百姓屋』が佐賀農業賞の最優秀賞に輝く

佐賀農業賞『先進的農業経営者の部』で、株式会社百姓屋（波多津町）が最優秀賞を受賞しました。これは、技術改良や経営改善に取り組む農業者に贈られるもので、自社で養鶏場を営むとともに、鶏肉加工品の開発や花苗<sup>はななえ</sup>の生産、直売所の設置など経営の多角化を進めるほか、同町認定農業者会長や指導農業者としての地域貢献が評価されたものです。